

(2) 本時の構想

① 学習の見通しをもたせるビデオ映像によるモデルの提示

音楽づくりにおいて、モデルは必要不可欠である。教師にとって、モデルを考えることは題材でのゴールイメージを描くことである。児童にとって、モデルは学習の見通しである。

本題材では、新潟の1年生のビデオ映像をモデルとして提示する。「おこめ」「ささだんご」といった言葉をもとにして、それを繰り返したり、つなげたりして音楽をつくっていくという見通しをもたせていきたい。

② 音楽の仕組みに気付かせるモデル演奏の可視化

音は目に見えず、消えてしまうものである。従って、モデル演奏を聴いただけでは、音楽の仕組みには気付くことは難しい。そこで、児童とやりとりしながら、モデル演奏を可視化して板書に示す。そして、「何か気付くことはないかな。」と問い、児童自ら音楽の仕組みに気付かせていく。

③ つくった音楽を可視化し、対話を活性化させるワークシートの活用

グループで音楽づくりをする際、考えを共有化するためのワークシートが必要である。本時では、グループで相談して声を出して試したり、さらに工夫して書き直したりすることができるようにラミネート加工したワークシートを使用させる。

(3) 展開

学習活動	教師の働き掛けと予想される児童の反応	■ 具体の評価規準 (観点/方法) ○ 留意点
1 新潟の1年生からのメッセージを聴く。(5分)	T 先生は、新潟から来ました。みなさんは、新潟の美味しいものを知っていますか。新潟の1年生が言葉のリズムで新潟の美味しいものを紹介します。どんな食べ物が出てくるかな。 ・おこめ ・イタリアン ・ささだんご ・おさけ ・たれかつ ・えちごひめ	○ 同学年が登場するビデオを見せることを通して、学習への意欲を高める。 ○ ビデオから、新潟の美味しいものを知らせ、宮城県のおいしいものは何か問いを生む。
2 宮城県のおいしいものを考える。(5分)	T では、みなさんの住む宮城県のおいしいものは何ですか。 ・おこめ ・はぎのつき ・わかめ ・牛たん ・ささかまぼこ ・おはぎ ・ずんだ ・はらこめし T 今度は、みなさんが言葉のリズムで新潟の1年生に宮城県のおいしいものを紹介しましょう。 ・どうやってつくったらいいのかな。 ・難しいな。	○ 近くの人と相談させて、宮城県のおいしいものをたくさん出させる。 ○ 文字数によって言葉のリズムが異なるため、出された意見は文字数によって分けて板書する。 ○ 宮城県のおいしいものを言葉のリズムで何度か言わせ、言葉のリズムに慣れさせる。 ○ ビデオを撮影し、新潟の1年生に見せることを伝える。
3 ビデオを見て、言葉を音楽にする工夫に気付く。(10分)	学習課題 宮城県のおいしいものを紹介する言葉のリズムは、どうやってつくるのかな。 ・グループでつくっていた。 ・おこめ、おこめと2回繰り返していた。 ・繰り返していないところもあった。 ・もう一回ビデオを見たい。 T もう一回見てみましょう。気付くことはないかな。 ・分かった。 ・おこめ おこめ ささだんご ささだんご おさけ イタリアンって言った。 ・同じ言葉を繰り返したり、違う言葉をつなげて言ったりしていた。 T そうですね。同じ言葉のリズムをまねっこ	○ ビデオを再度確認することを通して、反復や問いと答えを生かして、言葉のリズムをつくっていることに気付かせる。 ○ 音楽の仕組みに気付かせるために、ビデオから聴き取った言葉のリズムを可視化して提示する。 ○ 既習教材「フルーツケーキ」から、反復を「まねっこ」と学習したこと想起させる。 ○ 問いと答えについては、児童から出された意見を基に、1年生でも分かりやすい言葉で音楽の仕組みを知らせる。

	<p>したり、まねっこではないものと言ったりしていましたね。</p> <p>T まねっこではないものは、どんな名前を付けるといいかな。例えば、「○○さん」「はい」「あそぼ」「いいよ」ということだよな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おしゃべりかな。 ・おはなしかな。 <p>T お話ししている感じがしますね。おしゃべりにしましょうか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>まとめ まねっことおしゃべりをつかうとよい。</p> </div>	<p>■言葉のリズムに興味・関心を持ち、言葉でリズムをつくる学習に楽しんで取り組もうとしている。 関一行動観察</p> <p>▲Cの状況への働き掛け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・声を掛けて、活動に誘う。 <p>◎Aと判断される場合のキーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを積極的に発言している。
<p>3 グループで反復や問いと答えを生かして、8小節の言葉のリズムをつくる。(10分)</p>	<p>T 4人グループで、「まねっこ」と「おしゃべり」を使って8小節のリズムをつくりましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかめ わかめ ささにしき ささにしき 牛タン ささかまぼこ みんな おいしいね ・おこめ ささにしき おこめ ささにしき おこめ おこめ とっっても おいしいよ ・牛たん 牛たん おこめ ささにしき ささかまぼこ ささかまぼこ せんだいで ゆうめいだ 	<p>○ワークシートの記入の仕方について、全体で例となる言葉のリズムをつくりながら確認する。</p> <p>○ワークシートの書き方を確認した後、グループに1つずつワークシートとホワイトボード用のペンを配布する。</p> <p>○最後の2小節「みんなおいしいね」は、別の言葉に変えてもよいことを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>■反復や問いと答えを生かして、言葉のリズムをつくる工夫をしている。 創一演奏聴取・発言内容 振り返りの記述</p> <p>▲Cの状況への働き掛け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の班の演奏を価値付け、工夫の見通しをもたせる。 <p>◎Aと判断される場合のキーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ活動で、反復や問いと答えにつながる発言をしている。 </div>
<p>4 つくったリズムを聴き合う。(10分)</p>	<p>T 発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まねっことおしゃべりをいろいろな場所で使っているね。 ・宮城県のおいしいものを紹介する言葉のリズムができた。 ・みんなでつなげたい。 	<p>○グループの作品を1つずつ紹介する。</p> <p>○時間があつたら、全グループの作品をつなげる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>■反復や問いと答えを生かして、8小節の言葉のリズムをつくっている。 技一演奏聴取</p> <p>▲Cの状況への働き掛け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拍をとって、一緒に言葉のリズムを言う。 <p>◎Aと判断される場合のキーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループの他のメンバーをリードして演奏している。 ・拍の流れにのって、演奏している。 </div>
<p>5 振り返り(5分)</p>	<p>T 振り返りを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしたちは、牛タンとささかまぼことおこめとわかめで言葉のリズムをつくりました。初めは難しいと思ったけど、まねっこやおしゃべりを使ったら、思ったより簡単に言葉のリズムをつくることができました。 ・ぼくたちは、まねっこ2回とおしゃべり1回を使って言葉のリズムをつくりました。宮城県のおいしいものを紹介する言葉のリズムができてうれしいです。 	<p>○ワークシートに自分たちのつくった音楽とつくった感想を記入させる。</p>

(4) 評価

反復や問いと答えといった音楽の仕組みを生かして、8小節の言葉のリズムをつくっている。
(音楽表現の技能/演奏聴取)